



2020年11月11日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの新規制基準への適合性審査に係る
事業変更許可について

当社は、2014年1月15日、リサイクル燃料備蓄センターに係る新規制基準への適合性確認等の審査を受けるため、原子力規制委員会に対し、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、事業変更許可の申請を行っていましたが、本日許可をいただきましたので、お知らせいたします。

事業変更許可の取得は、事業開始に向けた一つの節目ではありますが、引き続き、設備の詳細設計に係る「設計及び工事の計画の変更認可申請」の審査に対応してまいります。

当社は、安全性向上への取り組みに終わりはない、という意識のもと、事業開始に向けて全力で取り組んでまいります。

以上

参考：審査で了承された主な内容

(問い合わせ先)
リサイクル燃料貯蔵株式会社
立地・広報グループ
阿部・安藤
TEL 0175-25-2992

参考：審査で了承された主な内容

| 審査区分 | 了承された主な内容 |
|-------|--|
| 地震等関係 | <p>【地盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下北断層、大陸棚外縁断層は、後期更新世以降（12～13万年前以降）の活動はない。 ○地質に関する各種調査結果に基づき、震源として考慮する活断層を抽出。 ○貯蔵建屋を設置する地盤には、将来活動する可能性のある断層等は認められない。 ○基準地震動に対する貯蔵建屋基礎地盤の評価を行った結果、基礎地盤のすべり、基礎の支持力、基礎底面の傾斜について評価基準を満足。 <p>【地震】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○敷地ごとに震源を特定して策定する地震動に関し、検討用地震として、横浜断層による地震（内陸地殻内地震）、平成23年東北地方太平洋沖地震を踏まえた地震（Mw9.0）（プレート間地震）、想定海洋プレート内地震（海洋プレート内地震）を選定。 ○敷地ごとに震源を特定して策定する地震動の評価結果に基づき、基準地震動 Ss-A を、震源を特定せず策定する地震動の評価結果に基づき、基準地震動 Ss-B1～B4 を策定。 <p>【津波】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仮想的な大規模津波として、青森県の津波想定による敷地付近における最大津波高さ（T.P.+11.5m）の2倍である T.P.+23m の津波を想定し、施設の基本的安全機能が維持されることを確認。 <p>【火山】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設計対応不可能な火山事象が、敷地に影響を及ぼす可能性は十分小さい。 ○恐山をモニタリングし、火山影響評価の根拠が維持されていることを継続的に確認。 ○施設の設計に用いる降下火砕物の層厚は30cm。 |

| 審査区分 | 了承された主な内容 |
|------|--|
| 施設関係 | <p>【基準規則への適合性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貯蔵施設（金属キャスク、貯蔵建屋、付帯施設）は、基本的安全機能（臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱）、損傷の防止（火災、地震等）等、施設の位置、構造及び設備の基準に適合している。 <p>【竜巻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貯蔵建屋は、竜巻による荷重に対して、ワゴン車が衝突しても健全性は確保される設計とする。尚、防護の観点から大型の資機材は飛散防止措置を実施。 ○貯蔵建屋が竜巻による飛来物に対して、外殻となるため、金属キャスクの基本的安全機能に影響を与える可能性は低い。 <p>【耐震設計方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金属キャスク、貯蔵建屋、天井クレーン等は、基準地震動に対して、安全機能を損なわない設計とする。 <p>【津波】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仮想的な大規模津波を想定し、貯蔵建屋貯蔵区域は遡上波の波力に耐え、金属キャスクの基本的安全機能は損なわれない設計する。受入れ区域が損傷し、それに伴って生じる落下物により金属キャスクが衝撃を受けたとしても、適切に修復をすることにより金属キャスクの密封機能および遮蔽機能を確保でき、事業所周辺の公衆に放射線障害を及ぼさないよう設計する。 |



| | 追加の安全対策（見込み） |
|------|---|
| 【竜巻】 | ○大型の資機材（コンテナ、物置等）、ワゴン車を超える大きさの車両に対して、飛散防止措置（固縛若しくは回避）を実施。 |
| 【耐震】 | ○天井クレーンの改造（トロリーの横行レールからの脱線防止） |
| 【津波】 | ○浸水後対策機材（高台に資材保管庫<可搬式機器：金属キャスクの蓋間圧力の計測器、放射線量率の計測器等>、電源）を準備。 |